

2001年1月1日
第4巻第1号(通巻13号)

ハイライト

特集：大学生活と卒業

2 いま思うこと

3 私にとっての卒業

4 放送大学と私

5 活動報告:「かけはし」

6 活動報告:「菜の花の会」

学生団体・サークル情報

放送大学神奈川学習センター
〒232-0061 横浜市南区大岡2-31-1
TEL:045-710-1910
FAX:045-710-1914
<http://u-air.net/kanagawa/>
E-Mail:social@u-air.ac.jp

UA神奈川学習センター

ふゆ だより



[イラスト：坂戸五葉]

いま思うこと

西尾 まつ枝

「女が勉強して何になるんだ。」中学卒業を目前にしての私に言った父の言葉でした。高校進学率の少なかった50年前のことです。それから働きながら夜は4年間、定時制高校に通いました。結婚してからも三人の子育てをしながら働き続けました。それは育児に専念したくても一旦職場を辞めたら再就職は困難な時代だったからです。NTTの職場で36年間働き、藤沢市議会議員として三期12年間、昨年65歳で引退をして私はやっと自分だけの時間でもつことが出来ました。放送大学は議員時代に教育問題（児童心理）や高齢者福祉に取組んだ時、当時放送大学在籍中の私の姪から関連するビデオや教科書を借りて参考にしました。大学とは遠い存在だと思っていた私にとって、情報機器を使って実生活にすぐに役立つ放送大学の教育内容、これなら私でも出来るし、学びたいと思いました。そして入学したのは三年前のことです。不思議なことに今まで関心のな

かった学科に興味をもちはじめ授業に喜びを感じはじめました。新しい自分発見です。またレポートを提出してホットした時、テストの時のある種の緊張感と終った時の解放感もなつかしく好きです。

海外旅行のスペインでは回教徒に関心をもち帰ってから「イスラムの世界」を学び、フランスへ行く前には「美術史と美術理論」を学びました。特に面接授業では年齢の違いはありますか同室の受講生の方々と親しくさせていただき人間関係も膨らみました。希望を語りあえる友人が出来るのが楽しみです。

21世紀、日本は世界に類のない早さで世界一の長寿国になりました。高齢者医療の増大が日本の経済を脅かしています。年金や老人医療の見直し、介護保険の導入など、国や地方の行政はその場だけの対処療法政策だけで「老いをうけ入れて正しく生きる」きめ細かい政策がありません。「老いを病気ととらえずつきあっていく」そのために元気で長生きの生活条件を整えることが大切だと思い

特集：
大学生活と卒業

ます。第一にバランスの良い食事をとること、第二に無理のない運動を続けること、そして一番大切なことはストレスを無くすことです。放送大学の沢山の科目の中には宇宙、地球環境、人間の衣食住そして文化等々、自分の感性と生活体験を生かし、ストレス解消する授業が沢山あります。私は今年6月に奈良国立博物館の「正倉院宝物」面接授業で正倉院宝物は日本が世界に誇れる千二百年前の生々しい宝物であることを教えられました。今秋、私は万余ある宝物のうち今年展示の78件をこの目で見ました。来年はどの様な宝物が展示されるか今から楽しみです。限られた人生こんなことを知らないで死んだら勿体ないと放送大学で学ぶことを明日への活力につなげています。私のモットーは「人生百年、最後は一週間」。元気で長生きをして最後の一週間で周囲の人々に感謝の言葉を伝えこの世を去る。たった一回しかない人生です有意義に過ごそうではありませんか。

特集：
大学生活と卒業

支障を克服して

天野 義雄

放送大学には長いことお世話になりました。平成4年に人間の探求専攻を卒業致しまして、その後私立大学の通信教育生となりましたが、(1)教材のみ送ってきたこと、中には故人の教授の教材があつたこと(2)スクーリングが夏期3週間続けて行われ、若い人々と共に冷房の部屋が少ないと等あまり魅力がなかったので1年半位で退学しました。その後放送大学に再入学(「生活と福祉」専攻)致し、2年前の1学期の期末試験で最低2単位取得すれば卒

業可能の処迄来ましたが、2年前の6月に腰痛手術の為入院3ヶ月程後退院の為前述の試験は受けられませんでした。

入院中腰痛は80%程治癒しましたが歩行不可能となり、爾来歩行可能になることを望みに勉学して参りましたが、外出は車いすの生活となりました。

依って1学期末に退学の決意をしておりましたが、なんとか試験場への交通、付添人、他の支障等を克服しまして8月1日に試験を受けました。

その折の学校当局の御好意は今でも忘れません。その結果今度の卒業となりまして、去る9月27日に卒業証書お送り下さいましたので受取ることができました。

老人も若わかしい気持ちに返り喜びは一入(ひとしお)でした。

放送大学は私にとり名実共、生涯学習のよき場がありました。今後は放送大学科目の好きなものを教材と放送で学んでいきたいと思っております。

特集：
大学生活と卒業

私にとっての卒業

伊藤 訓

長い間、心の中でひそかに思い続けていた「大学を卒業したい」という願いがかなえられました。卒業証書・学位記授与式に参列し、卒業証書を手にしたとき、「大学を卒業できた」という喜びを実感しました。

というのも、もう四十年位前になりますが、住込みで新聞配達のアルバイトをしながら高校に通っていましたが、挫折してしまいました。当時の同僚は大学生や予備校生でした。私は独立して一国一城の主になろう、そして経済的基盤をつくってから大学で学ぼうと、夢みたいなことを考えていたのです。何度か転職しましたが、三十代になって独立のチャンスが与えられました。十数年間、一国一城の主として卸業を営みました。しかし「問屋無用論」が出ていて、先行きが暗くなつて来たので廃業し、現在の会社に転職しました。

仕事でも日常生活でも、将棋や囲碁などの定石のように、物事を上手に進めるやり方や考え方があるのではないかと思います。例えば、囲碁の「し

ょう」という定石の型にはまると、逃げる延長線上に生き延びれる置石がない限り、逃げれば逃げるほど損害が大きくなります。大学に行くことによって、世の中のいろいろな仕組みや物の見方・考え方を学ぶことができ、視野が広まるのではないかと思います。独学でそれらを身につける人もいると思いますが、それには大変な努力が必要かと思います。

受講したい科目があつて思い切って「科目履修生」として放送大学に入りました。仕事に支障をきたさないようにと、一学期間に二科目位ずつ土曜・日曜の試験日を選んで受講していました。来期も継続して受講するのであれば「全科履修生」の出願もして下さいということで、平成七年一学期に正式に大学生となりました。相変わらず二科目位ずつ受講していく、「全科履修生」になって三年が経過しましたが、これまでの五年半で取ったのが四十三

単位位、まだ三分の一でした。

世の中の不景気風がわが業界にも押し寄せ、試験のため有休で平日に休んでも非難されそうになくなってきたので、受講科目を増やしました。私にとって難関である必須科目の体育実技は、硬式テニスを「せいぜい」いいながら、外国语科目は英語とスペイン語を面接授業にも冷汗をかきながら、挑戦しました。熱心なご講義とご指導のおかげで、なんとか単位が取れました。

「恥をかいた分、賢くなる」との同業者の話を授業にも活かしました。合計八年かかっての卒業です。朝四時前後に起き、労働時間が十三・十四時間という状況のなかで、悪戦苦闘での大学卒業でしたが、その分喜びも大きいものとなりました。関係者の方々に感謝致します。放送大学で学んだことを、これからに活かして生きたいと思います。

インドのキャンパスで考えたこと

越川 敏子

10月末のある一日、ムンバイ（ボンベイ）から東南へ200キロほどデカン高原に入った、プネーという都市の大学のキャンパスを訪れた。人口270万のこの都市に、公私立あわせて70以上のカレッジがあるという文教都市である。

キャンパスに入ってまず驚いたのはその広さで、数万坪もあり、バス停が数か所あるほか、インドのタクシーである「リキシャ」がずらりと客待ちしている。ブーゲンビリアやハイビスカスなど、熱帯の色鮮やかな花が満開だった。大きな樹の下では男子学生がひとり、静かに分厚

い本を読んでいたし、みどりの芝生には、十人あまりの女子学生が円陣を作り、教科書を手に討論をしていた。いかにも勉強しているという雰囲気があった。

旅行者がほんの一、二週間の滞在でその国が分かる筈もないけれど、教室で講義中に、携帯電話を平気で掛けている学生が氾濫している日本は、もうそれだけでインドに追い越されていると感じた。

よく知られているカーストの問題も、才能さえあればどんどん外国へ出て行って、職業を選ぶことができる、そのための勉強だから、切実

特集：
大学生活と卒業

さが日本の学生とは違うのだろう。たしかに大学に入れるのは一部の恵まれた人達かもしれないし、映画以外に娯楽もあまりないから、時間がたっぷりあるということもあるだろう。そう考えると、経済的、文化的に発展した社会は、あまり人間を幸せにしないのかもしれない。プネー大学の広いキャンパスのなかを歩きながら、そんなことを考えた。

放送大学と私（メモリアルデー）

高橋玲子

2000年9月24日、この日は、私の放送大学2回目卒業の学位授与式の日であった。そして、シドニーオリンピックでは、高橋尚子選手がマラソンで日本女子陸上初の金メダルをとり、国内では私の応援しているプロ野球チーム、読売巨人軍が4年ぶりにリーグ優勝を決め、長島監督が胴上げをされた日でもあった。

さて、私は、昭和60年、放送大学の開校をその2～3年前から待ちかまえていて入学した。頑張って4年後に第一期生として卒業したいという願望もあったが、どう考えてみても無理であった。「広く知識を身についきたい」と思って入学するのだから、卒業のための卒業をしても仕方ないと思い直し、7年を目標においてみた。科目申請時には、あれもこれも勉強したい科目だらけで毎回迷ったが、私なりの条件があった。当時、勤務先はまだ土曜日が休みではなかったこと、2人の息子もまだ小学校低学年だったことなどから、面接授業も試験日も日曜日でなければならなかった。さらに再試験となった

場合のことを考えて次学期の試験日も日曜日となっている科目を選んだ。大体4科目位を申請していたが、当時は3学期制だったので、けつこう忙しかった。

一番苦労したのは外国語科目で、英語は分厚い教科書で4単位科目であった。何回も挑戦したので教科書の中のドラマの内容を子供たちがすっかり覚えてしまい、何とも体裁が悪かったことを思い出す。その後、英語の内容は3科目に分けられ、2単位科目になったと思うが、結局私は、面接授業や他の科目と継ぎはぎだらけのような状態で、外国語科目の単位を充たした。面接授業も、当初は所属学習センターで受けなければならなかったが、後に改正され、どこのセンターでも受講できるようになって、友達もだんだん多くなった。

しかし、会社の仕事が益々ハードになり、長年の事務系の仕事がら、右腕の炎症がひどくなってしまったことや、私の努力不足もあって、卒業論文を途中で断念し、平成7年3

特集：
大学生活と卒業

月、第1回目「人間の探求」コースを卒業した。開校10年目の卒業式典は幕張メッセで行われたが、疲労困憊の状態で出席し、卒業論文のことでも心にひっかかっていたため、全く嬉しくなかった。

今回、「社会と経済」コースを卒業することができ、ずっと引きづっていた卒業論文のこと、ようやく吹っ切ることができた。

16年間、低空飛行ではあったが、自分の好きな科目を選んで勉強できたことを、ありがたく、嬉しく思えるようになってきた。

残念だったことは、2回目入学からはほとんど面接授業の登録がされなかったことである。優先順位のかけんで仕方ないとと思うのだが、今回の卒業パーティーでも顔見知りの人は1人も居らず、少しあいだをもつて思つた。

10月から又、「生活と福祉」コースに入学した。これからは1科目づつ、ゆっくり、しっかり勉強しようとおもっている。

エッセイ

21世紀へ向かって

大田 京子

8月の終り頃、フェスタ・ヨコハマに始めて参加しました。目的は、小尾先生の講義で、宇宙地球科学の大好きな私は、一度小尾先生の講義を生で受けたいと、常々思っていましたので、先生の授業が受けられると、一も二も無く飛びつきました。

本物の先生から受ける講義は、宇宙の構造を解りやすく説明して下さって、本当に感動しました。テレビでもそうですがステキな先生でした。

講義が終り、立食パーティーになり嬉しい気持ちのまま、ついビールを飲んでしまい、編集部の人と顔見

知りだったので、原稿を頼まれて、普段はノミの心臓のような私なのに、この時は、ぞうの心臓みたいに太っ腹になっていたので、安受けあいしてしまった。

こう言ったわけで、いよいよ本来の『21世紀に向かって』に入るわけだが、私としては、先ず放送大学の卒業である。何年先になるかはわからないが、頑張ってみるつもりである。今まででは、試験と集中講義の時ぐらいいしか学習センターに通わなかつたが、これからは頻繁に通って友達を大勢作りたい。

それと放送大学に早く大学院が、出来てほしいことである。別に私が

行きたいというのではないが、大学院が出来るのを、首を長くして待っている人が、大勢居ると思うからである。他の大学の大学院はちょっと、と、二の足を踏んで居る人も、も一度上に行って、修士や博士になろうと思う人も、居る事であろう。人生が変わるかも知れないし、視野が、グーンと広がる事は間違いない。21世紀に向かって明るく、楽しく、勉強出来ればそれでいいと思います。

活動報告：

サークル機関紙『かけはし』からの転載

10月1日(日)、放送大学身障学生支援サークル「かけはし」は、かながわ県民センターにおいて、三ツ木先生(障害福祉論)、臼井先生(保健体育)をお迎えしてのセミナーを開催した。

テーマは、「身障学生にとって果たして学習センターは利用しやすいか」。今回は事前にアンケート調査を行い、それも参考しながら、身障学生の方たちがより快適な学習環境を獲得するための方策を、18名の出席者で話し合った。

まず、弱視の学生から「単位認定試験のさい、特別措置を受けず一般で受験したが、同室で複数の科目の試験が行われていて、立て看板はあっても座る位置がわからず、違う問題が配られた。」との体験が語られた。これに対して、「特別措置を受けると不安がないので、特別措置を受けられてもよいのでは。」「一般受験でも監督者は複数いるから、座席などの確認をしてもらつたらよい。」「有名になる(顔を知られる)と、周りがフォローしてくれるようになるから、有名になるのも手である。」「一般で受験すると、友達ができるでよい。」などの意見が出された。

また、視覚障害の学生から「点訳に回すため、学習センターで印刷教材の貸し出しをしてほしい。」との要望が出された。これについては、「印刷教材を本人分と音訳・点訳車用と2冊用意していた。」「登録した学期に印刷教材を点訳・音訳に回し、その学期は単位認定試験を受けずに再試験一発勝負で受験した。」「印刷教材をもらってから点訳・音訳に回す方法よりも、データをテキストファイルに落としてもらえば、時間と手間の省略になる。」「印刷教材は目が見える人だけの物ではない。制度として予算化してほしい。」などの意見が述べられた。

コンピュータ利用については臼井先生から「印刷教材は、今はフロッピーではなく原稿を印刷業者に渡してできあがっている。全員の先生にフロッピー化を義務付ければ可能かもしれないが、コンピュータを嫌う人もいる。フロッピー化やそのキープは、その先生の好意でということになる。」というご説明があった。

ほかにも、放送教材の貸し出し希望に関する情報交換や英国のオープン・ユニバーシティと放送大学の比較、保健室は気軽に使えるのか・・・など、話題は多岐におよんだ。

現状をさらに改善するための方策として、三ツ木先生からは、「放送大学では、学生が提案し、これまで例のないことを第一例として実現する必要がある。ダメ

身障者にとって果たして学習センターは利用しやすいか —三ツ木先生と臼井先生を囲んでのセミナー報告—

モトで何度も提案すること。」との御提言を、臼井先生からは「平成5年に大学側に要望を出した後、いくつか改善された。できるところからやるという姿勢が大学側にある。学生側としては、ワガママでない自己主張が必要。」とのご助言をいただいた。

アンケートについては、三ツ木先生から「放送大学では学生間のアクセスがなかなかできない。そんな中で、回答者を10人集めるのも大変だったと思う。今回の調査はきわめて小規模だが、知り得た事実は重要であるから、どう活かすかツメをやっていただきたい。」とのお言葉をいただいた。

アンケートの集計結果から、紙面の都合により抜粋して掲載します。

(1) 学習センターの利用方法(複数回答)

単位認定試 10人 面接授業 9人
放送授業の再視聴 8人 図書館利用
3人 サークル活動 1人 その他 1人

(2) 学習センターの利用しやすい点はどんな点か?

東京第1 ・単位認定試験の特別措置や、面接授業用資料の拡大コピー等を頼みやすいこと。(視覚障害)

東京第3 ・駅から近い。(視覚障害)
現在は移転して、駅から遠くなりましたが。

埼玉 ・駐車場を無料で利用できる。(身体障害)・開放的で明るい。(身体障害)

千葉 ・トイレや講義室に点字の表示がある。(視覚障害)・職員が親切。(視覚障害)

神奈川 ・駅から近い。(視覚障害)・校舎狭いから教室の場所が覚えやすい。(視覚障害)・試験や授業の時、室が狭かつたが、広くなりラクになった。(身体障害)

北海道 ・履修科目が自由に再視聴できる。(視覚障害)

(3) 学習センターの利用しにくい点はどんな点か?

すべてのセンター ・談話室の自動販売機にも、点字表示がほしい。(視覚障害)

東京第1 ・講義室や教官研究室の部屋の表示位置が高く、見にくい。(視覚障害)

・図書室の書架の上の方が見にくい。(視覚障害)

東京第2 ・複数の試験を同じ教室で行う場合、自分の受験科目の席がわからない。(視覚障害)

東京第3 ・掲示物の場所、内容の確認ができない。(視覚障害)

埼玉 ・規模が大きすぎるために、場所がわかりにくい。(視覚障害)・ビルの入り口、エレベーターなど、混雑時の利用に

困る。(視覚障害)・各階に車椅子用のトイレがあるといい。(身体障害)

千葉 ・玄関のドアが重い。(身体障害)・最寄りの駅からの距離がある。(視覚障害)・広々としていて移動しにくい。(視覚障害)・再視聴の時周りが気になって点字板を使えない。(視覚障害)

神奈川 ・掲示板などが通路の中程、入り口から窓口の途中にある。(視覚障害)

北海道 ・(テープを)他の学生が借りていると、再視聴できない。(視覚障害)

石川 ・点字表示がない。せめて、トイレぐらいはつけてほしい。(視覚障害)

(4) その他の意見・感想

・ロビーの空間が狭いので、人が多いときには移動しにくい。(身体障害)・事務の対応に問題がある。何かと「本部に相談して」という対応で、本部から返事がこないという理由で対応が遅い。(視覚障害)・表・図・写真などを読み上げてくれるサービスがあったらありがたい。(視覚障害)・体調が悪いときに、保健室が気軽に使えるかが気になる。(内部障害)

・放送授業のテープの貸出期間を延長してほしい。(北海道・視覚障害)

ビデオ学習センターでは、テープの貸し出しをしていたそうです。

<回答者のデータ>

年齢・20歳代 3人・30歳代 2人・

40歳代 3人・50歳代 2人

性別・男性 5人・女性 5人

所属学習センター・東京1 1人・埼玉 1人・北海道 1人・東京2 1人・

千葉 2人・東京3 2人・神奈川 2人

障害・内部疾患 1人・視覚 6人・

身体 2人・無回答 1人

特別措置・あり 6人(試験時間延長、点字・テープ・拡大読書器などでの受験)・なし 3人・無回答 1人

片山 洋子

早瀬川麻里



活動報告

「菜の花の会」ができる

杉山 和子

今年の3月に放送大学視覚障害学生支援サークルとして「菜の花の会」が発足してからもう半年がたちました。この会は私が放送大学卒業後、点字を学び、点訳ボランティアとして過ごしている中で、何か放送大学で学ぶ視覚障害者の方の役に立ちたいと思っていたことを形にしたものです。

視覚に障害がある学生は勉強するのに点訳された教材を使います。しかし、学生と点訳グループのつながりは一対一で各々孤立しており、点訳サークルの横の連絡、視覚障害学生の横のつながりはありません。しかも放送大学は全国に広がっており、視覚障害学生の数も一般の大学の比ではありません。ということは一つの科目を何人の学生が科目登録し、それぞれ点訳依頼しており、これを全国でみると同じ科目をあちこちで重複点訳しているのです。

点訳というのは一文字ずつ入力します。ですから点訳には時間がかかり、早くても3ヶ月から半年かかります。もしまで点訳済みであればそれをすぐに入手できます。そして点訳サークルもよけいな点訳をせずに済み、その時間を新たな本の点訳に使えます。そのためにも、どのサークルで

どんな科目をデータとしてもっているかを一覧表にすれば、学生はそのリストを見て、すでに点訳済みのデータはそれをもらい、ない科目を新たに点訳依頼する、そしてそれをまたリストに載せる。そうするとリストはさらに科目数が増え、より充実していく。このように私は考えたのです。

実際には昨年夏から、いろいろな方を通じて、大学側にお願いをし、何回かのお話し合いの中で、大学の先生も賛成してくださり、ご協力をいただけたことになりました。そして今年始めに在学している視覚障害の学生の方にご自分の点訳依頼しているサークルを紹介していただき、そのサークルに協力のお願いをしてやっと発足したのです。

視覚障害がある学生といつても全員が点字を読めるわけではありません。中途失明などで点字を学ぶ機会のなかつた方は朗読奉仕で教科書を読んでもらって勉強しています。弱視の方もいます。しかし、点字で学んでいる学生にとってはこういうリストはとても欲しかったのではないかと思います。協力のお願いをした方からの返事はすぐにあり、第1回目のリストは14のサークル、67科目で発行できました。そして今月11月15日付で第2号の

リスト発行いたしました。今回はサークル数も科目数も少し増えました。また、点訳済み科目への複製（入手）依頼も何科目かあちこちのサークルにあったようです。また、この「菜の花の会」のリストの存在を知って、これまで放送大学に入学するのをためらっていた方が入学を決めたというお便りをいただいたりしました。

現在、「菜の花の会」のリストは年2回の発行を目指しており、さらに在学している学生の方にはリストを利用するだけでなく、このリストを充実していくために学生自身が点訳サークルやいろいろな情報をこちらに提供してくれるという「協力」をして欲しいと思っています。私が「菜の花の会」を始めたときに考えたのは、お互いがそれぞれの立場で協力しあう会にしたいということです。協力にはいろいろな形があります。その立場、立場でできる協力をすることによってこの会は長く続していくことができるのです。どうか視覚障害のある方だけではなく、できるだけ多くの学生の方に「菜の花の会」のことを知っていただき、協力ををお願いしたいと思っております。（2000年11月19日記）

学生団体・サークルのお知らせと活動報告

拡大かながわレク・サークル

活動報告: 晩秋の白樺高原へ

八木橋 文子

「漆紅葉」「銀杏黄葉」「雑木紅葉」紅葉、落葉のこの季節をたのしむ女神湖一泊二日の旅です。

平成12年11月11日定刻7:30 予定どおり横浜を出発、一行18人はそれぞれ、多彩な目的に胸を膨らませながら、車中ときおり空模様を気に掛けて、目的地に向った。

中央自動車道 ~ 美しの森 ~ 松原湖 ~ 蓼科ビーナスライン ~ 女神湖。

宿泊ペンション・アニ・ヒルズへ p.m.6:00到着。

夕飯のほかにあまい香りのワインとフランス料理で疲れも忘れて、暖炉の炎のあかりのもとで、深夜まで団欒が続いた。放送大学のグループは、元中学

校々長の先生をなかに“教育論”に、はながさいた。

翌朝は、女神湖の神秘さに心うたれて、窓から暫らく離れることが出来なかつた。水墨画のグループの方々は、カメラを片手に、霧のなかの湖へと、姿を消していった。

朝食には、りんごのフレッシュ・ジュースのさすがに美味しかったこと。

高原の朝日を頬に感じながら、蓼科牧場りんご狩りへと向つた。

りんごを満載した車に乗つて、快晴に恵まれた、学友との、はじめての楽しい旅を終えた。



神奈川放友会

10月には15名の新人が加わり140名の大部隊になり気分新たに頑張っています。

神奈川放友会は会員相互の交流の輪を拡げて親睦を図り、学習を援助する学生団体で下記のサークル活動をしています。

- ・行楽と研修を兼ねた旅行
- ・研修旅行（大学本部・図書館等）
- ・旅にいこう会（行楽地・名所旧跡等）
- ・学習に関する情報交換
- ・会員相互の研究発表

放送大学での学生生活をより一層充実させ交流の輪を拡げたい方の入会をお待ちしています。

・行事予定（12月～3月）

12月16日（土）忘年会

2月18日（日）旅にいこう会

3月17日（土）例会（翌年度の計画）

照会/入会申込先

〒235-0023 横浜市磯子区森1-15-1 810号

吉田 昭二

Tel/Fax 045-752-2783

神奈川放友会活動報告：

鎌倉寺社めぐり

八木 秀夫

放友会恒例の行事“旅に行こう会”は、メンバーの一人田嶋さんの案内で、「鎌倉歴史散策の旅」と銘打って6月18日実施。

勉強の方はさておき、足には自身のある人ばかり16人が参加。

私は雨男だが、参加者の中にそれを凌ぐ強い晴れ男、否「晴れ女」が居たと見え、前日からの雨は上がっていた。

鎌倉駅西口を10時半出発。最初は、鎌倉文学館。入り口から玄関まで、鬱蒼と茂る草木に囲まれた緩やかな登り、途中の小さなトンネルが、幽玄な雰囲気を醸し出していた。中には、鎌倉ゆかりの作家の原稿などが展示されていた。見学の後、前庭で建物をバックに記念撮影。

ここから南下、途中江ノ電の踏切を渡り海岸に出て右折、成就院へ向かう。少し行くと極楽寺坂切り通しの手前左側に階段が見えて来た。それを登ったところが成就院だ。階段の両側のアジサイは満開、本堂は非公開だった。

ちょっと戻って今度は北上。再び江ノ電の踏切、車体に絵の描いてある電車が通り過ぎた。さっきも待たされ二度目だが、それもまた楽しい。まもなく長谷寺に着く。ズルをして駐車場から入り、近道をして拝観券売場へ。

仏様には失礼して、拝観の前にまず昼食。話が弾む。試験や通信指導の話にはじまり、果ては「デカルト、カントが……、さすが大学生！」

田嶋さんから、ここには日本一の木彫の仏像が有る、などの説明。そのあと個々に見学。日本一の仏像はさすがに威厳があった。0時45分出発、帰りはちゃんと正面から出る。次は隣の光則寺。

入り口の賽銭箱に、百円入れて中に入る。小さなお寺だが、観光客が少なく落ち着いていてとても良い。かいどうの老木が有った。来年、花が咲く頃に来てみよう。本堂の左手を登ると奥に、日蓮の弟子で、当寺開山の日朗が幽閉されていたという土牢があった。格子の向こう側は暗く不気味で、日朗の気持ちを推し量ると、心が痛む思い。

光則寺を出て東へ行くと、車が渋滞した道路へ出た。排気ガスが充満している。早く逃れたい一心で黙々と40メートル、大仏の高徳院のはずれを右折する。とたんに緑が一杯の細い道、排気ガスの臭いのない爽やかな風が吹いてきた。大きく一息ついて、みんなは顔を見合わせる。「すごかったねえ。」左側は崖、見上げると空まで続く緑が、日の光にきらきら輝いている。天気は益々良くなってきた。来て良かった。そんな気持ちにさせてくれる。

そこから20分、錢洗い弁天に到着。お金を洗いに行く人は、僅かしかいない。ほとんどの人は、お金を増やしたくない（？）ので、出発時刻まで、休憩所にペタリと座つたままだった。

鎌倉駅の北で一部の人とお別れ。最後の力を振り絞って、鎌倉五山最古のお寺寿福寺へ。

裏のお墓のさらに奥に、北条政子のお墓があった。他に、高浜虚子のお墓もあるはずだが。…もういいか。

16時25分鎌倉駅で解散。
案内をしてくれた田嶋さんを始め、皆さんの協力で楽しい一日でした。ありがとうございました。

最後に「晴れ女」さんにも感謝！

Nancy Class & うえるかむ

What is Nancy Class?

それは、講師のアメリカ婦人の名前から取った英会話クラスのことです。アメリカ本場の英語を私達神奈川学習センターの学生に指導してくれるのです。

このクラスは、学生有志による課外活動の一部として開かれている楽しい集まりです。

Communication Skills に重点を置き、英語の表現が自ら身に付くように訓練

されます。

是非、このクラスの扉をたたいてください。お待ちしています。

例会

Nancy Class

第2水曜 10:00～11:30

第4水曜 10:00～11:30

“うえるかむ”は、関東地区の学生達の相互親睦をはかるために合同行事[研修旅行、勉強会等]を行っている自治活動サークルです。神奈川学習センターでは、独自にNHK英会話を始め、ニュースコラムを読んだり、スコットランド民謡を聴いたりして、広い視野から英語勉強会を下記のとおり実施しています。

ご参加をお待ちしています。

例会

第3木曜 13:00～15:00

第4水曜 13:00～15:00

合同行事は、毎月1回程度開催

連絡先

星 : 045-844-9647

坂本 : 0467-31-8036 (19時以降)

人間学研究会

【例会予定】(2001/01～2001/04)

01/14(日) パソコンとインターネットについて（新井さん）

02/18(日) 日頃疑問に思っていること（安池さん）

03/17～18(土～日) 幕張本校の研修センターに（1泊の合宿となります）

04/08(日) 総会

【例会】連絡先：

松本清康 045-302-1121

【歩きましょう予定】

第8回汽笛一声（新橋～桜木町）

本年に限り、12/23から01/07(日)に変更

33Km コース：新橋桜田公園集合
08:00 受付開始

15Km コース：JR川崎東口ルフロン

2F集合 09:30 受付開始

明神岳ハイキング 01/13(土) 雨天中止

小田原駅大雄山鉄道改札口に 08:00
集合

大雄山～明神岳頂上～宮城野

小笠原諸島を尋ねて 03/02～
03/07(金～水)

父島母島を尋ねます、現地3泊+船中2泊です。

詳細については大出さんにお問い合わせ

わせ下さい。

【歩きましょう】連絡先：

大出鍋蔵 0468(41)7937 (橋村記)

【活動報告：講演「経済学者ヴェブレンの早すぎたポストモダン批判」を聞いて】

大出 鍋蔵

去る12月10日人間学研究会が主宰した講演会で、標記の演題で坂井素思先生のお話があった。参考文献の一つである

『有閑階級の理論』1899年出版の本が小原敬士訳で岩波文庫から出ているが9月に品切れで手に入らず、事前に予備知識をまったく持たないままの聴講であったが、いろいろ考えさせられるものがあった。

その一つに、「必要以上に生産し消費するのはなぜか?」という間に、「人間の必需以上の消費は見せびらかしのためだ」と言う。なるほどと思うことがある。自家用乗用車を一つの例として考えてみよう。『有閑階級の理論』が出版された19世紀末は決して庶民のものではなかったはずだ。当時は馬車が全盛であり、もちろん、有閑階級には御者付きの馬車を持つ者がいたはずである。それが自動車に取って代わり、大衆車の出現する中で高級車が造られ、運転手付きの乗用車を所有するのが現代である。

ある大企業の副社長の話であるが会社から運転手付きの車が与えられているが、そのコストがばかにならないとのことである。必要なときに何時でも乗れる便利さがあるが、効率化を求める企業として考えさせられるものがあると語っていた。ステータス・シンボルのなにものでもなかろう?

今や自動車産業の盛衰は一国の経済を左右するほどの影響力を持っている。自家用乗用車がなくては生活が出来なくなっている一面があることも事実であるが、なぜそのような事になったのだろうか?経済発展、社会進歩とは何か、大いに考えさせられることである。生産行程において常にムダをなくし、効率化を求めて発展(?)してきた資本主義経済は、今や「見せびらかしの消費=不必要な消費」を大量に生産しなければ存続しえないことになってきているのではなかろうか。そんなことを考えさせられた講演であった。このようなことを指摘する書物が100年も前に出版されていたとは又驚きであった。

先生の「研究論文」が3月発行の『放送大学研究年報18号』に掲載されるとの事。これ待って会員の皆さんと話し合ってみたいと思っている。資本主義経済の特質「不在主義」という「ポストモダン」が存在するという現代社会とはなにか。

放送大学同窓会

新しい年を迎え神奈川同窓会はいろいろと行事を計画しています。皆さんの参加をお待ち致します。

【今後の行事予定(1月~3月)】

映画鑑賞と坂井先生のお話

日時：平成13年2月25日(日)13時30分~16時

場所：神奈川学習センター 第8講義室

映画の題名：『バベットの晩餐会』

問い合わせ先：出 口 TEL 0467-24-0160

：佐々木 TEL 045-472-6482

多数の参加をお待ち致します。

フォスター・プラン活動展示

現在支援しているフォスター・チャイルド5人との交流状況を展示します。

展示場所：学習センター談話室

展示期間：平成13年1月14日~1月31日

問い合わせ先：伊東 TEL 045-842-5300

：星 TEL 045-844-9647

ダンスサークル

日時：平成13年3月まで第3土曜日13時30分~17時

場所：「アイウエオ」京急、黄金町駅改札口を出て右へ 徒歩3分 (TEL 045-252-7848)

会場費：1300円

問い合わせ先：西浦 TEL 045-781-4638

グランドゴルフ

日時：毎月第3日曜日14時~

場所：学習センター前大岡グランド

問い合わせ先：金子 TEL 045-621-3387

『波濤』第21号発行：3月1日

(伊東記)

印刷教材購入のお知らせ

(財) 放送大学教育振興会

*** ご注文方法 ***

ご注文は、ご購入希望の書籍名、お送り先のご住所、ご氏名、ご連絡先の電話番号をご記入の上、下記宛へお願いいたします。ご注文の受付は、原則的に24時間365日ご利用いただけますが、お客様の対応窓口及び商品配送業務は、土・日・祝日は休みとさせて頂きます。

また、お申込の方と納品先が異なる場合は、その旨必ずお書き添えください。

(1)Faxでご注文の場合

03-3592-2482

(2)郵送でご注文の場合

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-14-1
郵政互助会琴平ビル3F

(財) 放送大学教育振興会販売部 宛

(3).インターネットで注文する場合
(財) 放送大学教育振興会ホームページ上で、ご注文いただけます。

<http://www.ua-book.or.jp>

送料については、ご注文部数によって異なります。一冊のとき送料310円、2~3冊のとき380円、4冊以上は無料。(放送大学生は学生番号を記載すれば、特別に一冊でも送料無料です。)

*** お届け方法 ***

お届けは、宅急便、郵便局の代金引換とさせていただきます。

入手期間は、ご注文をいただいたから最短4日。平均1週間となります。(在庫数、地理的条件等により更に日数を要する場合もございます。)また、書籍の品切等の場合、別途ご連絡をさせていただきます。

*** お支払い方法 ***

上記のご注文のお支払いは、代金引換となります。書籍をお届けの際に、ご請求金額(書籍代(税込)+送料)をお支払いください。

領収書の必要なお客様にはお送りいたしますので、その旨ご連絡下さい。

(財) 放送大学教育振興会 販売部
(TEL:03-3502-2750)

神奈川学習センターだより編集部

発行者：新飯田宏

編集者：五十嵐、遠藤、星、
加藤、松本、皆川、吉田、
斎藤、浅野、坂井

・イラストは前回に続いて、好評な坂戸五葉さんに描いていただきました。また、学生の方の「はる号」原稿を募集しております。

放送大学学生募集

平成13年度第1学期

・出願受付：平成12年12月15日

~平成13年2月15日

・授業開始：平成13年4月1日

・現在資料配布中

・興味のある方・入学を希望する方には、入学手続きや授業内容を記しました募集要項と授業科目案内を無料でお送りします。はがき又は電話で、神奈川学習センターへ請求してください。